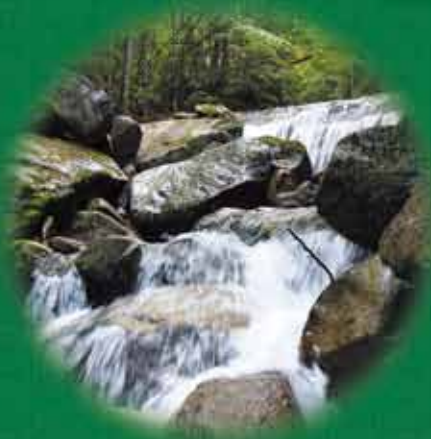


信州の名水・秘水

行こう たから
～15・守ろう・地域の財産～



長野県

「信州の名水・秘水」の選定について

平成22年1月 長野県(環境部)

豊かな水環境に恵まれた長野県には、良好な水質、優れた景観、歴史的価値を持ち地域の誇りとして住民に守られてきた「名水・秘水」が数多く存在します。

そこで、県では水の大切さを再認識し、水環境を保全する意識の高揚を図るとともに、地域の活性化に役立てるため、「信州の名水・秘水」選定委員会により、湧水等の中から特に優れたもの15箇所を「信州の名水・秘水」として選定しました。

なお、環境省では、昭和60年に「名水百選」、平成20年に「平成の名水百選」を選定し、長野県から名水百選に3箇所、平成の名水百選に4箇所選定されています。

信州の名水・秘水

地域	市町村名	番号	名称
佐久	川上村	①	千曲川源流
	御代田町	②	大沼の池の湧水
	御代田町	③	血ノ池と周辺湧水群と濁川
上伊那	飯島町	④	越百の水
下伊那	阿智村	⑤	一番清水
木曽	木曽町	⑥	御嶽山 三の池
	王滝村	⑦	御嶽神社里宮御神水
	大桑村	⑧	阿寺溪谷「美顔水」
松本	松本市	⑨	上高地 清水川
	塩尻市	⑩	平出の泉
北安曇	小谷村	⑪	雨飾山湧水
長野	長野市	⑫	お種池
	須坂市	⑬	豊丘の穴水
北信	中野市	⑭	谷蔵寺の井戸「延命水」
	栄村	⑮	北野天満温泉湧水

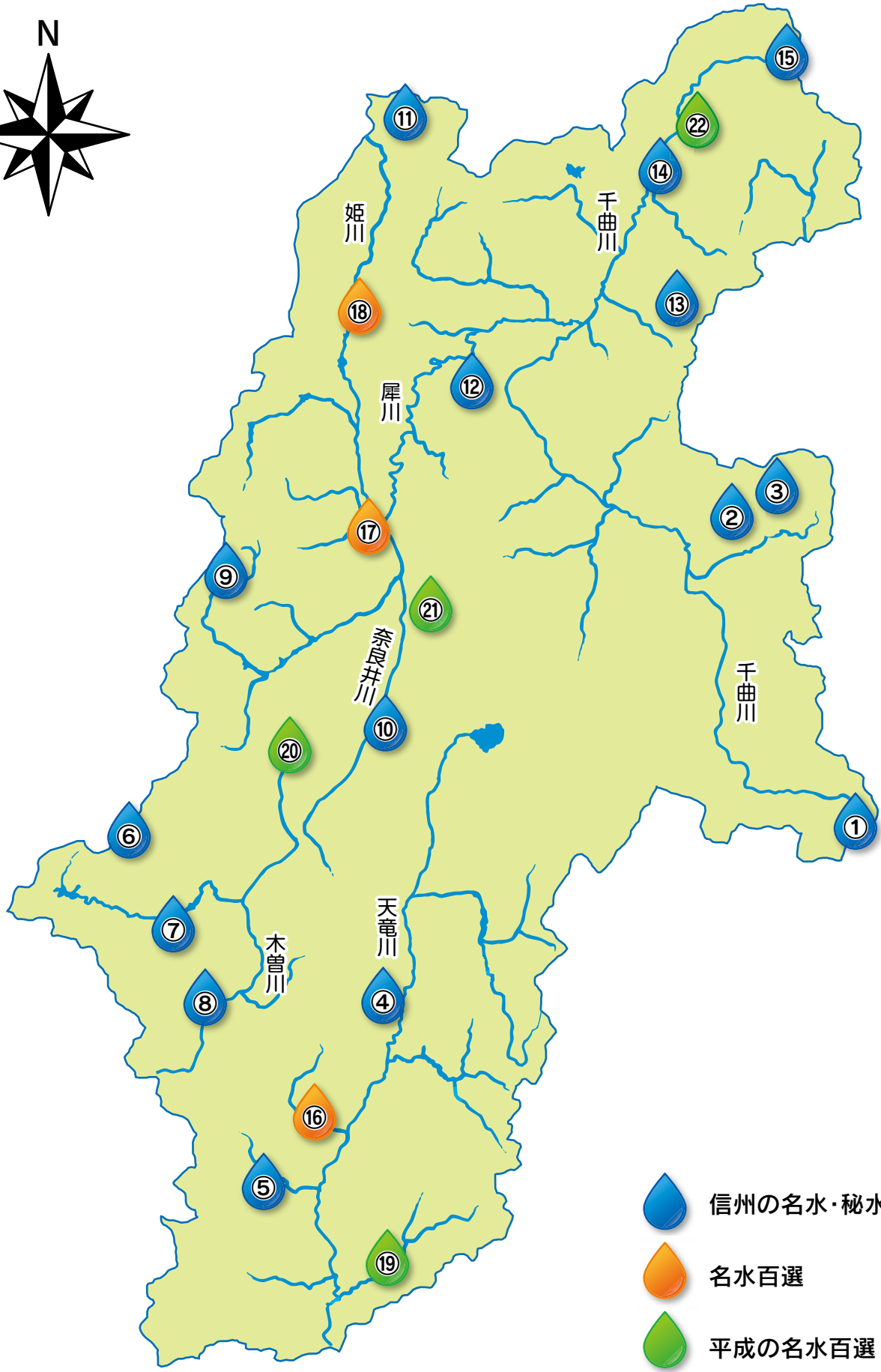
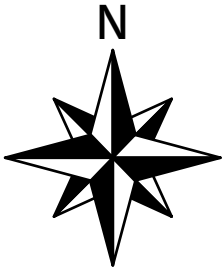
「名水百選」のうち県内分

地域	市町村名	番号	名称
下伊那	飯田市	⑯	猿庫の泉
松本	安曇野市	⑰	安曇野わさび田湧水群
北安曇	白馬村	⑱	姫川源流湧水

「平成の名水百選」のうち県内分

地域	市町村名	番号	名称
下伊那	飯田市	⑲	観音霊水
木曽	木祖村	⑳	木曽川源流の里 水木沢
松本	松本市	㉑	まつもと城下町湧水群
北信	木島平村	㉒	龍興寺清水

「信州の名水・秘水」及び長野県内の「名水百選」、「平成の名水百選」



湧水・河川

ちくまがわけんりゅう
①千曲川源流 (南佐久郡川上村梓山 甲武信岳)



■日本一の大河の源流

甲武信岳に源を発する千曲川は、岩をかむ清流となつて、情緒豊かな渓谷美をつくりながら流れています。源流付近はうっそうとした原生林に囲まれ、真夏でも身を切るような冷水の中にイワナやヤマメなどが生息しています。

信濃川を守る協議会（千曲川沿いの自治体等が構成員）が、河川のごみ拾いを行うとともに、環境保全の啓発を行っています。また、河川保全意識の高揚を図るため、地域住民の参加を呼びかけて、源流見学ツアーの「千曲川源流を訪ねて」を開催しています。

■お問合せ先

川上村企画課 電話0267-97-2121
E-mail:kawakamimura@vill.kawakami.nagano.jp
ホームページ:http://www.vill.kawakami.nagano.jp/kanko/

■交通案内

- JR小海線川上駅下車→梓山行きバスで43分→梓山下車→徒歩4時間30分
- 上信越道佐久ICから車で毛木平まで1時間40分→徒歩4時間

湧水・池

おおぬま いけ ゆうすい
②大沼の池の湧水 (北佐久郡御代田町大字塩野142 真楽寺境内)



■古刹の境内にある水量豊富な湧水

浅間山の噴火が鎮まることを祈願して、6世紀末に建立されたと伝えられる古刹「真楽寺」の境内、仁王門を入ったところにこの泉はあります。池底からは豊富な水が湧き出し、うっそうとした杉木立を水面に映しています。

池の一角には、この地に伝わる「龍神伝説」にちなんだ人造の龍が鎌首を覗かせています。ここは、勇壮な夏祭り「龍神まつり」の重要な舞台ともなります。湧水は、かんがい用水として利用されており、利用者が、毎年、池の掃除と周辺の草刈を行っています。

■お問合せ先

御代田町民課 電話0267-32-3111
E-mail:miyota@town.miyota.nagano.jp
ホームページ:http://www.town.miyota.nagano.jp/

■交通案内

- しなの鉄道御代田駅下車→小諸行きバスで10分→真楽寺入口下車→徒歩5分
- 上信越道小諸ICから車で15分

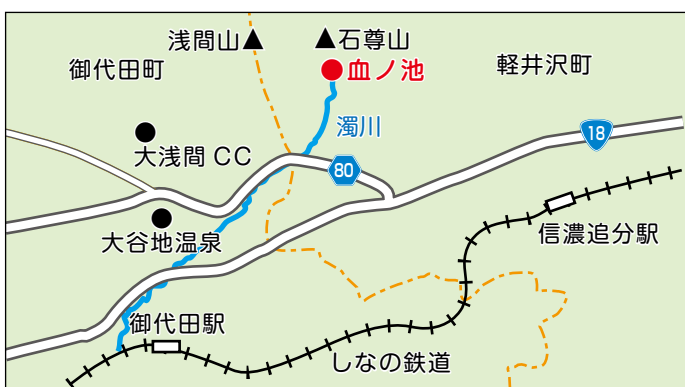
湧水・池・河川 ③ **血ノ池と周辺湧水群と濁川** (御代田町大字御代田字血ノ池411番地他)



■ **浅間山麓に湧出する赤褐色の秘水**

血の池とその周辺湧水群は、軽井沢町内にある御代田町の飛び地であって、御代田町の水田を潤すかんがい用水の源泉です。

鉄分が多いため、湧出してしばらくすると赤褐色の水となるのが特徴で、これが濁川の名前の由来です。源泉は、古くから大切に守られてきました。浅間山の噴火に伴う噴石や土石流で度々埋まりましたが、その度に、浚渫や復旧が行われてきました。現在は、町内耕作者の代表が、春には池の浚渫や草刈り、秋には水神様の祭りを行っています。



■ **お問合せ先**

御代田町町民課 電話0267-32-3111
E-mail:miyota@town.miyota.nagano.jp
ホームページ:http://www.town.miyota.nagano.jp/

■ **交通案内**

- しなの鉄道信濃追分駅下車→徒歩2時間
- 上信越道佐久ICから車で軽井沢町追分(石尊山登山口)まで30分→徒歩1時間30分

地下水(井戸水) (飲用実態あり) ④ **越百の水** (上伊那郡飯島町飯島4番地2 与田切公園内)



■ **中央アルプスで^{かんよう}涵養された軟水**

中央アルプス越百山周辺の山岳地帯で長い年月をかけて涵養された地下水を、町が管理する与田切公園内にある井戸で汲み上げています。

水は硬度 29 の軟水であり、多くの地域住民が水汲みに訪れます。

飯島町で公園管理の一環として、毎日、水の濁りの有無や水量の確認をするとともに、清掃を実施しています。



■ **お問合せ先**

飯島町振興公社 電話0265-86-6780
E-mail:shinko@town.iijima.nagano.lg.jp
ホームページ:http://www.town.iijima.lg.jp/

■ **交通案内**

- JR飯田線飯島駅下車→徒歩30分又はタクシー 5分
- 中央道駒ヶ根IC又は松川ICから車で15分

湧水
(飲用実態あり)

いちばんしみず
⑤ 一番清水 (下伊那郡阿智村清内路 国道256号線沿)



■住民に守られた山村の歴史ある湧水

飯田と木曾を結ぶ国道256号沿いにある湧水で、かつては旅人ののどを潤していました。

名称の由来は、清内路に入って一番目の清水であるからとも、清内路で一番美味しい清水であるからとも言われています。

硬度13の軟水で、中京方面からも水を求める多くの人々が訪れ、週末には列ができるほどです。

「一番清水の会」が、毎月清水周辺の環境保全活動を行っており、行楽シーズン前後には、広く国道沿いのごみ拾いや草刈りなどを行っています。

また、多くの利用客が訪れるため、掲示板を設置し、清内路周辺の観光情報やイベント情報の発信に活用しています。

■お問合せ先

阿智村清内路支所 電話0265-46-2001

E-mail:info@seinaiji.jp

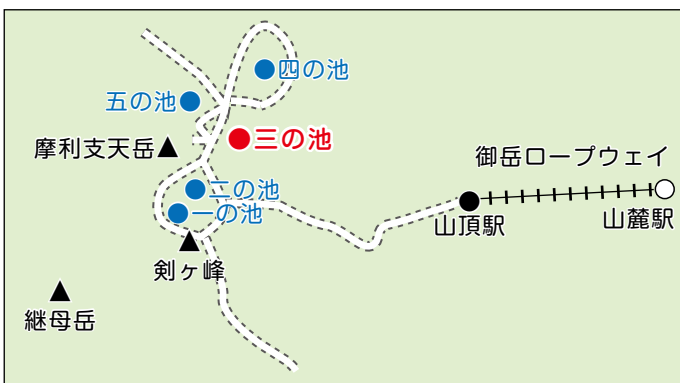
ホームページ:http://www.seinaiji.jp/

■交通案内

- JR飯田線飯田駅下車、駒場昼神行きバスで40分→阿智村役場入口下車→清内路行きバスで10分平瀬下車→徒歩3分
- 中央道飯田山本ICから車で20分

池

おんたけさん さんの いけ
⑥ 御嶽山 三ノ池 (木曾郡木曾町三岳 御嶽山山頂付近)



■高山の水深ある火口湖の秘水

標高2,720mにある火口跡で、周囲は約700m、最大深は13.3mあり、日本でも有数の標高と深度を誇ります。すり鉢状の池を満たす水は瑠璃色に澄み、「御神水(ごしんすい)」として崇められています。

毎年、木曾町が町内の各種団体や住民に呼びかけ、100人以上でゴミ拾いを行う御嶽山清掃登山を行っています。

御嶽山にある一ノ池から五ノ池までの5つの池には、「山頂の一の池に、5色の龍が住んでいた。人々が池をのぞき込んで騒いだため龍が怒りだし、池を押し破ってそれぞれに棲むようになり、五つの池ができた。」との言い伝えが残っています。

■お問合せ先

木曾町産業観光課 電話0264-22-4285

E-mail:kanko@town-kiso.net

ホームページ:http://www.kankou-kiso.com/miru/ontakesan.html

■交通案内

- 御岳ロープウェイ山麓駅まで
JR中央本線木曾福島駅下車→御岳ロープウェイ山麓駅行きバス60分
中央道伊那ICから車で80分
- 御岳ロープウェイ山頂駅下車→徒歩3時間



断崖から滴り緑の苔を育む湧水

王滝村の中心を過ぎた霊峰御嶽山の一目には、長い歴史を刻む御嶽神社里宮があります。

鳥居をくぐり、神秘的なご神木に囲まれた長い石段を登り切ると、社殿が見えてきます。

その背後は荘厳な立岩となっており、断崖からしたたり落ちた水が、ゆっくり時間をかけながら、美しい苔を育てています。

この水はまた、山岳信仰の信者や拝観者がお清めに口に含む「御神水」として崇められています。



■お問合せ先

王滝観光総合事務所 電話0264-48-2257

E-mail:kanko@vill.otaki.nagano.jp

ホームページ:http://www.ontake.jp

■交通案内

●JR中央本線木曽福島駅下車→王滝行きバス王滝下車→徒歩15分

●中央道伊那ICから車で65分



美しい溪谷と森の中の湧水

森林奥の岩間から湧き出ており、谷の中でも一番冷たくきれいな水で、木をくりぬいた水受けに導水されており、溪谷を訪れる者ののどを潤しています。

かつて、山を管理していた尾張藩の役人の奥方がこの冷水で洗顔したところ、皆、色白の美人になって帰ったことから名前が付いたと言われています。

大桑村商工会、大桑村観光協会を中心として地元住民が「阿寺溪谷ふれあいエコクラブ」を立ち上げ、毎年水源地の清掃や林道脇の草刈り、小木の伐採など溪谷の保全活動を行っています。



■お問合せ先

大桑村観光協会 電話0264-55-4566

E-mail:syokan@vill.ookuwa.nagano.jp

ホームページ:http://www.vill.ookuwa.nagano.jp/kankou

■交通案内

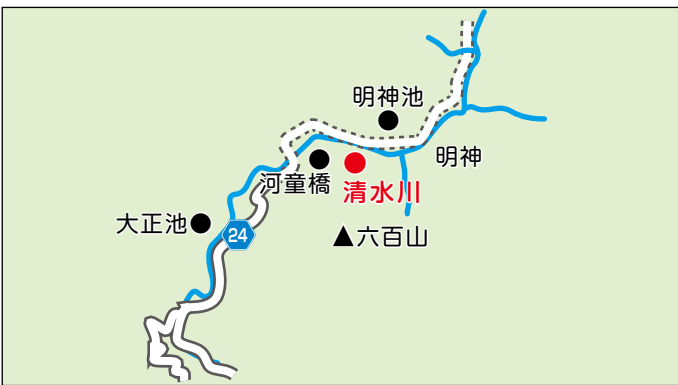
●JR中央本線野尻駅下車→徒歩70分

●中央道伊那ICから車で80分

中津川ICから車で45分

湧水・河川
(飲用水源)

かみこうち しみずかわ
⑨上高地 清水川 (松本市安曇4468 上高地)



■上高地の豊富で清澄な湧水と河川

上高地、六百山の麓から湧き出した豊富な水が全長300 m程の小河川を作り、河童橋から50 mほど上流で梓川に合流しています。抜群の透明度で、バイカモが揺れる中をイワナが泳ぐ姿を見ることが出来ます。

湧水は、上高地の飲用水源になっています。

上高地を美しくする会等が、立入り禁止の木柵及びロープの管理、河川周辺のゴミ拾い、観光客への呼びかけなどの活動を行っています。

清水川脇の上高地ビジターセンターなどで清水川の水中ライブ画像を流しています。

■お問合せ先

松本市山岳観光課 電話0263-94-2307

E-mail:sangakukanko@city.matsumoto.nagano.jp

ホームページ:http://youkoso.city.matsumoto.nagano.jp/water/

■交通案内

- 松本電鉄上高地線新島々駅下車→上高地行きバス上高地バスターミナル下車→徒歩10分
- 長野道松本ICから車で沢渡まで60分→シャトルバス乗り換え30分上高地バスターミナル下車→徒歩10分

湧水・池

ひらいで いずみ
⑩平出の泉 (塩尻市宗賀平出 平出遺跡)



■縄文時代から地域の生活を支える湧水

縄文時代から平出遺跡の大規模な集落の形成要素になったといわれるこの泉は、湧出量が多く約7日間で池の水が全て入れ替わるため、底まで見えるきれいな水で知られています。

泉から出て集落内を流れる水は現在でも生活用水として親しまれ、利用されています。

市の史跡に指定されており、清掃や草刈などの維持管理作業が地区の人々によって行われています。

博物館・平出の泉・平出遺跡を名所・旧跡見学コースとして位置づけ、平出博物館・歴史公園の整備とあわせて観光地としての地域活性化を図っています。

■お問合せ先

塩尻市生活環境課 電話0263-52-0280

E-mail:kankyo@po.city.shiojiri.nagano.jp

ホームページ:http://www.city.shiojiri.nagano.jp/

■交通案内

- JR中央本線塩尻駅下車→宗賀線日出塩上行きバス10分平出博物館前下車→徒歩1分
- 長野道塩尻ICから車で15分(国道19号線を名古屋方面へ。「桔梗ヶ原東」信号を左折)

湧水
(飲用実態あり)

あまがざりやまゆうすい
11 雨飾山湧水 (北安曇郡小谷村中土 雨飾高原キャンプ場)



■日本百名山のふもとの湧水

雨飾山の登山道沿いに湧き出しており、登山者ののどを潤しています。登山道沿いには、ブナの木が多く、7月の新緑の時期や、10月の紅葉が素晴らしい山です。雨飾高原キャンプ場の水道の水源となっているほか、「雨飾山の天然水」として商品化され、村の特産品として販売されています。小谷村から雨飾高原キャンプ場の管理者として指定された大北森林組合が、キャンプ場及び登山道整備に伴う水源周辺の整備・維持を行っています。



■お問合せ先

小谷村観光振興課 電話0261-82-2001
E-mail:nourin@vill.otari.nagano.jp
ホームページ:http://www.vill.otari.nagano.jp

■交通案内

- JR大糸線南小谷駅下車→小谷村営バス小谷温泉行き 終点雨飾荘下車→徒歩3Km
- 長野道豊科ICから車で120分

湧水・池

たねいけ
12 お種池 (長野市大岡丙5402-2 樋知大神社境内)



■天然ブナ林に囲まれた地域の誇りの湧水

聖山北斜面の旧大岡村の樋知大神社境内にあり、ブナ林や参道杉並木などとともに境内一円が、長野市の名勝・天然記念物に指定されています。住民からかんがいの種水として崇敬されており、かんばつの際には筑北や稲荷山など聖山周辺の地域からも人々が訪れます。お種池の水を濁すと雨が降ると語り継がれ、その言い伝えは絵本にもなっており、中学校の文化祭で創作劇が上演されるなど地元住民に親しまれています。神社の総代会が、日頃から点検を行い、また、お祭りにあわせて清掃や周囲の環境整備などを行っています。



■お問合せ先

長野市環境政策課 電話026-224-5034
E-mail:kankyo@city.nagano.nagano.jp

■交通案内

- JR篠ノ井線聖高原駅下車→車で30分
- 長野道更埴ICから車で60分
- 長野道麻積ICから車で40分

湧水
(飲用実態あり)

とよおか あなみず
⑬ 豊丘の穴水 (須坂市豊丘 県道346号線沿)



■ 洞窟の奥、岩壁から湧き出す湧水

五味池破風高原自然園へ向かう県道の途中から、木立に囲まれたゆるやかな山道を歩いて行くと、巨大な岸壁が見えてきます。岩盤の割れ目からしたたり落ちる湧水と洞窟の奥から湧き出る湧水が「豊丘の穴水」です。小鳥のさえずりと、したたり落ちる湧水の音が木立にこだまします。かつて須坂藩主が鷹狩りの休憩地としてに利用されたと伝えられ、古くから大切に守られてきました。現在も、地元財産区のみみなさんがボランティアで看板の設置や山道の草刈りなどを行っています。また、五味池破風高原自然園は100万株のレンゲツツジが群生し6月下旬にはツツジの花で彩られます。



■ お問合せ先

須坂市生活環境課 電話026-248-9019
E-mail:s-seikatsukankyo@city.suzaka.nagano.jp
ホームページ:http://www.city.suzaka.nagano.jp/

■ 交通案内

- 長野電鉄須坂駅下車→車で45分
- 上信越道須坂長野ICから車で55分

地下水(井戸水)
(飲用実態あり)

こくごんじ いど えんめいすい
⑭ 谷巖寺の井戸「延命水」 (中野市赤岩332 谷巖寺境内)



■ 市民に愛飲されるお寺の井戸水

高社山を背景に四季折々の風景に恵まれ、春は桜、夏は紫陽花で知られる谷巖寺の庭園内にある手押し式ポンプの井戸水です。管理者及び地域住民で構成するボランティア団体が、日頃の清掃や雪囲いなどの保全活動を行っています。平成21年度、中野市が行った「信州中野の名水選」において、試飲した多くの市民の評価を得て、名水として認定されました。地域おこしとして行われる花のイベントでは、この水を使ったお茶会が開かれるなど、地域の貴重な資源として活用されています。



■ お問合せ先

中野市環境課 電話0269-22-2111(内247)
E-mail:kankyo@city.nakano.nagano.jp
ホームページ:http://www.city.nakano.nagano.jp/city/kankyo/

■ 交通案内

- 長野電鉄信州中野駅下車→木島行きバス15分赤岩下車→東側に向かって徒歩30分
- 上信越道信州中野ICから車で15分(志賀中野有料道路利用)

地下水(自噴)
(飲用実態あり)

きたの でんまんおんせんゆうすい
15 北野天満温泉湧水 (下水内郡栄村堺北野 北野天満温泉)



■水量豊富な自噴する地下水

北野天満温泉の掘削時に湧出した地下水です。毎分約6トンという大量の水が自噴しており、その様子を見学できる湧水堂と、利用者のための水汲み場が設置してあります。

湧水堂や温泉施設を含む一帯は公園として整備され、栄村ならではの珍しい野草が群生する植物園もあります。地域を盛り上げようという住民有志のグループが、周辺の草刈やこの水を使った魚のつかみ取りなどのイベントを開いたり、地下水、温泉を利用した様々な活動に取り組んでいます。

■お問合せ先

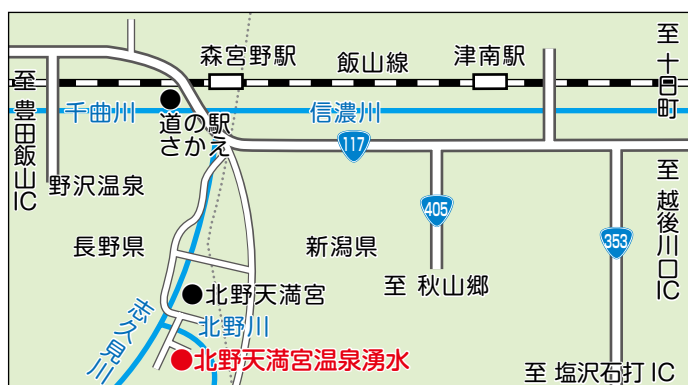
北野天満温泉 電話0269-87-2892

E-mail:kitano@miy.janis.or.jp

ホームページ:http://www.vill.sakae.nagano.jp/skousya/kitano.html

■交通案内

- 上信越道豊田飯山ICから車で50分
- 関越道塩沢石打ICから車で60分



湧水
(飲用実態あり)

さるくら いずみ
16 猿庫の泉 (飯田市羽場)



■茶の湯に最適といわれる湧水

飯田市北西部の風越山山麓に湧出しています。江戸時代、宗徧流不蔵庵龍溪宗匠が、茶の湯に適した水を求めて諸国を巡っている時、天竜川の水でたてた一服に不思議な味を感じ、その舌に残る名水を尋ねて川をさかのぼること10里(約40km)、ついにこの湧水をさがしあてたといういわれがあり、茶の湯に最適なものといわれ、広く親しまれています。現在、猿庫の泉保存会が5月～10月の日曜日・祝日に野点(のだて)を行っており、また、周辺の環境保全に力を入れています。

■お問合せ先

飯田観光協会 電話0265-22-4851

E-mail:ecotur@city.iida.nagano.jp

ホームページ:http://www.ii-s.org

■交通案内

- JR飯田線飯田駅下車→大休行きバスで12分大休下車→徒歩20分
- 中央道飯田ICから車で20分





■安曇野の代名詞のひとつとなっている湧水

北アルプスの雪どけ水は、豊富な湧水となってこの地を潤し、真夏でも水温が15度を超えることはありません。

これを利用し、大規模なわさびの栽培が行われており、小石や砂を盛り上げ、幾何学的に配列されたわさびの畝の間を湧水が流れる眺めは、安曇野を代表する風景のひとつとなっています。

また、本湧水は養魚にも適しており、ニジマス、イワナ、信州サーモンの養殖も盛んです。

安曇野市では本湧水群の保全に努めています。

■お問合せ先

安曇野市役所生活環境課 電話0263-82-3131

E-mail:kankyou@city.azumino.nagano.jp

ホームページ:http://www.city.azumino.nagano.jp/kanko/index.html

■交通案内

- JR大糸線柏矢町駅又は穂高駅下車→タクシー 10分又は徒歩40分
- 長野道豊科ICから車で10分



■季節ごとに花々が模様替える源流

白馬さのさかスキー場の近く、親海湿原の北側にある荒神の森を隔てて、姫川の源流があります。姫川は新潟県糸川市で日本海へと注いでいますが、国道沿いに大きな河川の源流が見られるのは、全国的にもまれなことと言えます。

河床が細かい礫になっており、冷水中にはアオハナゴケやバイカモの群落があり、夏には可憐な梅の花に似た小さな花を川面に咲かせます。

また、湧き水近くの川面はオランダガラスで一面に覆われ、川辺には福寿草、水芭蕉、キクザケイチゲ等が咲き乱れます。

■お問合せ先

白馬村役場観光農政課 電話 0261-72-5000

E-mail:kannou@vill.hakuba.nagano.jp

ホームページ:http://www.hakubasanosaka.com/himekawa_oyomi.html

■交通案内

- JR大糸線南神城駅下車 徒歩10分
- 長野道豊科ICから車で60分
- 上信越道長野ICから車で60分

湧水
(飲用実態あり)

かんのんれいすい
19 観音霊水 (飯田市南信濃和田 龍淵寺境内)



古くから親しまれた日本有数の硬水

遠山郷（飯田市南信濃）の和田 龍淵寺の境内にあり、取水口の盛平山に観音霊場があることからこの名称が名付けられたといわれています。

古くから地域の生活用水として利用されてきた湧水で、カルシウム、マグネシウム、炭酸水素を多く含む弱アルカリ性の硬水として知られており、近年では県外からも多くの方が水を汲みに訪れています。「観音霊水を愛する会」等により保全活動が行われています。

■お問合せ先

遠山郷観光協会 電話0260-34-1071
 E-mail:info@tohyamago.com
 ホームページ:http://www.tohyamago.com

■交通案内

- JR飯田線平岡駅下車→和田行きバス20分和田下車→徒歩3分
- 中央道飯田ICから車で60分
- 中央道松川ICから車で70分



湧水・河川

きそがわげんりゅう さとみずきざわ
20 木曽川源流の里 水木沢 (木曽郡木祖村 小木曽国有林内)



樹齢200年を超える天然林が育む源流

樹齢200年を超える木曽ヒノキ、サワラ、ブナなどの天然林のどこからともなく湧き出す清らかな水に育まれた水木沢は、気軽に森と水の関わりを学習できるフィールドです。

地元では、地域一帯を「水の始発駅」と名付けており、下流中京圏にとっての水瓶として活用され、水を絆に交流も活発に行われています。

水木沢天然林内には遊歩道が2ルートあり、自然と触れ合いながら手軽にトレッキングができます。

■お問合せ先

木祖村観光協会 電話0264-36-2543
 E-mail:kkk@kisomura.com
 ホームページ:http://www.vill.kiso.nagano.jp/kankou

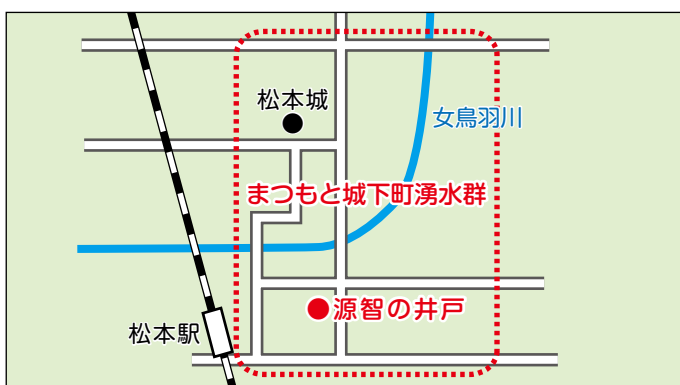
■交通案内

- JR中央本線数原駅下車→小木曽行きバス細島下車40分(休日は水木沢までのバスを利用可)
- 国道19号数原交差点から主要地方道奈川木祖線を上高地方面へ10km→案内板で左折、林道を2kmで現地



湧水
(飲用実態あり)②1 まつもと城下町湧水群 しょうかまちゆうすいぐん (松本市 松本城周辺市街地)

写真: 源智の井戸



■市民に親しまれ、城下町をうるおす湧水群

国宝松本城を擁する城下町には美ヶ原高原などの豊かな自然が生んだ清らかな水がいたる所から湧き出しています。

湧水は古くから飲用水や産業に利用されており、現在も多く井戸が整備され、市民や観光客に潤いと安らぎの場を提供しています。

毎日のように市民が水を汲みに訪れる井戸もあり、地域では清掃などの保全活動が積極的に行われ、大切に受け継がれています。

■お問合せ先

松本市環境保全課 電話0263-34-3267

E-mail:kankyo-k@city.matsumoto.nagano.jp

ホームページ:http://youkoso.city.matsumoto.nagano.jp/water/

■交通案内

●JR「松本駅」下車→徒歩約15～30分

●タウンズニーカー(市内周遊バス)の北コース

湧水
(飲用実態あり)②2 龍興寺清水 りゅうこうじしみず (下高井郡木島平村内山)

■内山和紙の紙すきに用いられる湧水

この清水は木島平村内山地区にあってあった龍興寺の境内に湧出しているため、「龍興寺清水」と呼ばれ、飲料水やニジマスの養殖、農業用水として広く利用されています。

ブナの大木や白樺が群生する「カヤの平高原」により涵養された地下水で、「龍興寺清水祭り」では、この清らかな水を使った手打ちそばが好評を得ています。

経済産業大臣指定の伝統的工芸品「内山和紙」をすく際にも用いられており、隣接する「内山和紙体験の家」で、伝統技術を体験することができます。



■お問合せ先

木島平村環境整備課 電話0269-82-3111

E-mail:kankyo@kijimadaira.jp

ホームページ:http://www.kijimadaira.jp/

■交通案内

●JR飯山線飯山駅下車→野沢温泉行きバス中村下車→徒歩25分

●上信越道豊田飯山ICから車で25分

「信州の名水・秘水」の選定にあたって

1. 選定概要

水環境保全意識の高揚を図るとともに、地域の活性化に役立てるため、良好な水質、美しい景観、歴史的価値等を持ち、地域の誇りとして住民に守られてきた湧水等の中から特に優れたものを「信州の名水・秘水」として15箇所を選定しました。

2. 選定方法、選定基準等

市町村から推薦のあった36箇所について、「信州の名水・秘水」選定委員会において現地調査などを行い、以下の選定基準に基づき総合的に審査し、平成22年1月に選定しました。

- (1) 地域住民等による水利用等の実績があり、保全活動が行われているもの
- (2) 故事来歴、希少性、特異性等の特徴があるもの
- (3) 水量・水質、周辺環境（景観）、親水性などに優れたもの
- (4) 飲用に供する場合は適正に管理されているもの

3. 選定委員

(順不同 敬称略)

氏名	所属等
藤縄 克之	信州大学工学部教授〔選定委員会委員長〕
加瀬 清志	放送作家
栗田 貞多男	写真家
益山 代利子	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科准教授
横山 タカ子	料理研究家
白井 千尋	長野県環境部長
牧野内 生義	長野県環境保全研究所長

(参考) 環境省による名水の選定状況

【名水百選とは（昭和の名水百選）】

環境省では、全国に存在する清澄な水を再発見して、これを広く国民に紹介し啓蒙普及を図るとともに、国民の水質保全への認識を深め、併せて優良な水環境を積極的に保護すること等、水質保全行政の進展に資することを目的に、昭和60年、「名水百選」を選定しました。

【平成の名水百選とは】

平成20年には、持続可能な社会の構築が喫緊の課題となっている中で、健全な水循環がもたらす恩恵と人間社会の営みの共生や、水のある暮らしや風景の復権が強く求められているなど、社会情勢の変化も踏まえ、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境のなかで、特に、地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われているものを「平成の名水百選」として選定しました。



編集発行：長野県環境部水大気環境課

〒 380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2

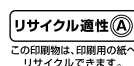
電話：(026) 232-0111 (代表)

(026) 235-7176 (水大気環境課直通)

長野県公式ホームページ：<http://www.pref.nagano.lg.jp>

水大気環境課 E-mail：mizutaiki@pref.nagano.lg.jp

平成 23 年 2 月発行



この印刷物は環境保護のため、大豆油インキを使用しています。